



慶應義塾大学出版会

初年次教育書カタログ

2026

—目次—

学習実用書	3
各科目教科書	10

慶應義塾大学出版会株式会社

〒 108-8346 東京都港区三田 2-19-30 <https://www.keio-up.co.jp/>
お問い合わせは、TEL: 03-3451-6926 FAX: 03-3451-3124

「初年次教育書籍カタログ 2026」について

大学での講義を中心とした教育現場にて教科書・参考書としてご採用いただいている（あるいはご採用いただきたい）初年次教育向けテキスト 36 点を、「学習実用書」「各教科用テキスト」に分けて一覧にしております。

新年度の教科書・参考書を選定する資料としてご利用いただければ幸甚に存じます。

本カタログの見方

書影	書名	電子書籍マーク	
	編著者名	当社 web サイトの 書籍詳細ページへの QR コード	
	定価（税込） 判型・製本・頁数 ISBN 刊行年		
	書籍のテーマ		
	書籍紹介文	著者（編集部）コメント	

凡例：

- ◆ 本カタログ掲載書目の御注文は日頃よりご利用の書店様へお願いいたします。
- ◆ 御注文状況によっては、本カタログ掲載書籍が品切れとなる可能性もございますのでご了承ください。
- ◆ 本カタログの価格表示は 10%の税込価格です。
- ◆ [電子書籍マーク] が付いている書目は、電子書籍版があることを示します。
- ◆ ご採用としての見本請求をご希望の方は、下記**採用見本請求フォーム**よりお願いします。
(献本の性質上、おひとり1回2点までのお申し込みとさせていただきます)

慶應義塾大学出版会 採用見本請求フォーム

下記 URL もしくは右の QR コードより、採用見本請求フォームへアクセスください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/8e4a3f4c186669>



【本カタログについての問い合わせは】

慶應義塾大学出版会株式会社 www.keio-up.co.jp/
営業部教科書担当 乙子（おとご） 智
〒108-8346 東京都港区三田 2 - 19 - 30
TEL 03-3451-6926 / FAX 03-3451-3124
Email text@keio-up.co.jp

学習実用書

2026年1月
刊行予定!



アカデミック・スキルズ 第4版 AI時代の知的技法入門

佐藤望 編著／湯川武・横山千晶・近藤明彦 著

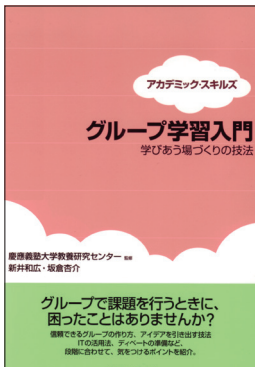
1,320円 A5判並製・216頁 978-4-7664-3087-5

テーマ アカデミック・スキル全般、生成 AI



累計20万部を超える大学生向け学習指南書を6年ぶりに改訂。大学生の学習の基本を押さえた構成はそのままに、第4版では、新章「AI時代のアカデミック・スキルズ」を加え、生成AIで何ができるのか、大学における課題等での使い方や注意点を解説。

【編集部コメント】大学初年次教育の定番教科書として多くの学校で採用いただいております。「読む・書く・調べる」といった、大学で学ぶうえでの基本的なスキルについてコンパクトにまとめられています。その一方で、学ぶとはどういうことか、学ぶにあたって求められる姿勢といった側面についてもはっきりとしたメッセージを打ち出しているところも実は本書のポイントと言えます。最新となる第4版では、今日急速に発展・普及する生成AIについての章を加えました。



(アカデミック・スキルズ) グループ学習入門 学びあう場づくりの技法 電子

慶應義塾大学教養研究センター 監修／新井和広・坂倉杏介 著

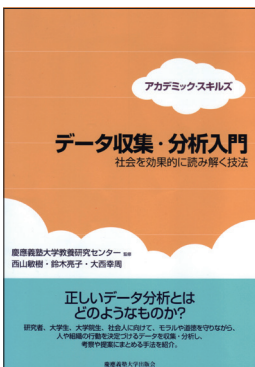
1,320円 A5判並製・172頁 978-4-7664-2039-5 2013年

テーマ グループワーク、ディベート



信頼できるグループの作り方、アイデアを引き出す技法、ITの活用法、ディベートの準備など、段階に合わせて、気をつけるポイントを紹介。「失敗しない」グループ学習の秘訣を伝授する。

【編集部コメント】生成AIの爆発的普及で、大学における学びが急速に変化している昨今、協同で学ぶこと＝グループ学習の必要性はかつてなく高まっているといえます。本書はグループ学習に特化した構成で、ディベートやレポート執筆、ティーチング・スキルの基本を解説しています。グループ学習に積極的な学生はもちろん、大学でなかなか交友関係を広げられていない学生が、仲間とともに学び合う機会を作るうえでも役に立つ一冊です。



(アカデミック・スキルズ) データ収集・分析入門 社会を効果的に読み解く技法

慶應義塾大学教養研究センター 監修／西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周 著

1,980円 A5判並製・184頁 978-4-7664-2050-0 2013年

テーマ 情報検索、社会調査



正しいデータ分析とは、どのようなものか？ 研究者、大学生、大学院生、社会人に向けて、モラルや道徳を守りながら、人や組織の行動を決定づけるデータを収集・分析し、考察や提案にまとめる手法を紹介。


【編集部コメント】近年「データサイエンス」の名を冠する学部・学科が急増していますが、いわゆる「文系」「理系」にかかわらず、質的データ、量的データを正しく収集・分析・考察できることはあらゆる大学生にとっていま必須のスキルになっています。本書は具体的な研究の流れと合わせて、データを収集するうえでの倫理的配慮についても詳しく解説しています。また弊社HPから練習用のサンプルデータをダウンロードして使用可能です。


	(アカデミック・スキルズ) 資料検索入門 レポート・論文を書くために	
	市古みどり 編著／上岡真紀子・保坂睦 著	
	1,320 円 A5 判並製・160 頁 978-4-7664-2051-7 2014 年	
テーマ 資料検索、OPAC 検索		
レポートや論文執筆を行う際に、自分が書こうとするテーマや考えを固めるために必要な資料（根拠や証拠）を検索し、それらを手にするまでの「検索スキル」を身につけてもらうための入門書。	【編集部コメント】 大学生がレポートや論文作成に取り組むうえで必要となる、資料の検索・収集方法を現役の大学図書館員が解説します。「レポートとは何か」「どうやって問いを立てるか」「情報をどう扱うか」といった基本的な考えから、文献・論文の探し方や統計データの集め方などを具体的に紹介。巻末には OPAC、CiNii Articles、Google Scholar の検索法をまとめた附録「検索の手引き」も収載。	


	(アカデミック・スキルズ) 学生による学生のための ダメレポート脱出法 電子	
	慶應義塾大学教養研究センター 監修／慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員 著	
	1,320 円 A5 判並製・184 頁 978-4-7664-2177-4 2014 年	
テーマ レポート・論文の書き方		
実際に大学の学習相談に寄せられた質問を元に、レポート・論文執筆のポイント／学習テクニックを、大学の学生相談員が「学生の目線」から易しく解説。この一冊で、「ダメなレポート」から脱出せよ！	【編集部コメント】 「アカデミック・スキルズ」のシリーズのなかでも、とくに高い評価をいただいている一冊です。この種の教科書では、「模範レポート」「優れたレポート例」を紹介しているものは多くありますが、「ダメレポート」に焦点をあてているものは決して多くありません。本書のもう一つのポイントは第2部の「スケジューリングの方法」で、ますます忙しくなる大学生が効率よく時間を使いながらレポートを書くための情報が詰まっています。	


	(アカデミック・スキルズ) 実地調査入門 社会調査の第一歩 電子	
	慶應義塾大学教養研究センター 監修／西山敏樹・常盤拓司・鈴木亮子 著	
	1,760 円 A5 判並製・144 頁 978-4-7664-2256-6 2015 年	
テーマ 社会調査		
はじめて社会調査を行う学生を対象に、調査の計画・実施とデータ分析の基礎について、事例を交えながら説明。データの収集法や分析法はもちろん、成果をレポートやプレゼンテーションにまとめる際のポイントまで解説した入門書。	【編集部コメント】 研究対象を自分の目で実際に見る、人に直接会ってインタビューする、といった社会調査を、生成 AI が行うことは(まだ?) できません。本書は「学部1～2年生のレポートでの調査・分析」をテーマとし、社会調査の基礎知識から実際のデータ収集・分析、データを「見える化」したプレゼンまでをまとめています。『(アカデミック・スキルズ) データ収集・分析入門』の姉妹編で、同書が中級編、本書は基礎編にあたります。	

	(アカデミック・スキルズ) クリティカル・リーディング入門 人文系のための読書レッスン 電子	
	慶應義塾大学教養研究センター 監修／大出敦 著	
	1,980 円 A5 判並製・200 頁 978-4-7664-2274-0 2015 年	
テーマ クリティカル・リーディング		
大学生が直面する「レポート」や「論文」の執筆では、「テキストを読む」力が求められる。そのときに「どうやって読んだらいいのか」「何を論じたらいいのか分からない」といった悩みに、人文系の例題を使って答える一冊。	【著者コメント】 小説や詩をクリティカルに読む実践を通して、高校までの感想文的な読解からの脱却を図ることを目指した入門書です。文学作品の読解は難しい、論理的に読めないといった声はよく耳にしますが、夏目漱石、中原中也、村上春樹などの作品を使って、論理的・批判的な読解のコツや実践を紹介。本書は、人文系のテキストを扱っていますが、論理的な読解の実践という点からすると、社会科学系のテキストの読解の訓練としても使用することができます。(大出敦)	

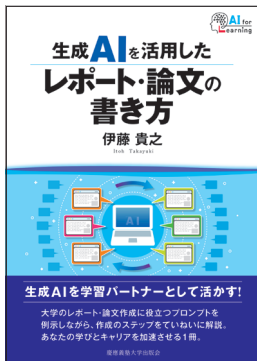
	(アカデミック・スキルズ) プレゼンテーション入門 学生のためのプレゼン上達術 電子	
	慶應義塾大学教養研究センター 監修／大出敦 編著／直江健介 著	
	1,540円 A5判並製・168頁 978-4-7664-2573-4 2020年	
テーマ プレゼンテーション		
社会人がビジネスで行うプレゼンテーションとは異なる、学生のためのアカデミック・プレゼンテーションに必要なスキルを3段階にわけて解説。基礎・準備・実践の3点からプレゼンに臨む学生をサポートする。	【著者コメント】 スライドショーを使ったプレゼンテーションを前提にした入門書です。しかし本書は、スライドショーの作り込みに力点を置いたものではありません。そうではなくて、プレゼンテーションが自己満足なものに陥ることなく、どのようにすれば他者を説得できるかという視点から書かれています。そのため、デザインやテクニックの解説は最小限に留め、自ら問いを発見し、それを解決して、アウトプットするという論理的思考の実践に重点を置いたものになっています。(大出敦)	

	思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版 電子	
	井下千以子 著	
	1,320円 A5判並製・176頁 978-4-7664-2577-2 2019年	
テーマ レポート・論文の書き方		
累計3万部の好評レポート・論文入門書の第3版。文献の調べ方・読み方から、フォーマットを使った書き方までを懇切丁寧に解説。また、「引用」時の注意点の追記や重要単語の索引を付し、利便性を向上。	【編集部コメント】 レポート・論文執筆の入門書として、多くの学校で採用いただいている一冊です。本書の最大の特徴は「フォーマットに沿った書き方が示されている」という点です。このフォーマットは「思考の道筋」を作るためのもので、本書で強調されている「書くことと考えることの往復運動」に役立ちます。なおこの第3版からは索引も設けており、「わからないことや関連項目を探すことができ便利」と採用者の方からもご好評をいただいています。	

	思考を鍛える大学の学び入門 第2版 論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで 電子	
	井下千以子 著	
	1,320円 A5判並製・152頁 978-4-7664-2651-9 2020年	
テーマ アカデミック・スキルズ全般、キャリアデザイン		
ワークシートで、大学での学びの基本的スキルが身につく好評解説書を改版。第2版では、自分が所属する学部(学群・学系)で4年間何をどのように学んでいったらいいのか、アカデミックプランニングについての内容を追加。	【編集部コメント】 こちらも大学初年次教育の教科書として多くの学校で採用いただいています。総合大学のほか、看護系・福祉系の大学における採用が目立つのが特徴です。それと関係すると思われるのが、本書のタイトルにあるように、単にレポート・論文の執筆だけでなく、キャリアデザインまでを視野に入れた構成となっていることです。自身の所属する学部のカリキュラムや理念を意識したうえで、そこにおいてどう学ぶかを考えることのできるテキストです。	

	レポート・論文の書き方入門 第4版 電子	
	河野哲也 著	
	1,100円 A5判並製・128頁 978-4-7664-2527-7 2018年	
テーマ レポート・論文の書き方		
累計発行部数20万部を超えるベスト&ロングセラーを約15年ぶりに改訂。「テキスト批評という練習法」の解説を充実させ、注の形式に関する説明を整理・更新、参考文献とその解題も一新。初心者のための決定版！	【編集部コメント】 1997年の初版刊行以来、長年にわたり教員・学生の皆さまからの支持をいただいて版を重ね、最近では高校でのご採用もいただくようになりました。冗長さを排した、無理なく読み通すことのできるコンパクトな一冊でありながら、書き方のテクニックだけでなく、「論文とは何か」を自然に学べる作りになっています。ぜひレポート・論文に初めて取り組む際のお供として読んでいただきたいテキストです。	

2026年1月
刊行予定!



生成AIを活用したレポート・論文の書き方

伊藤貴之 著

1,320円 A5判並製・152頁 978-4-7664-3083-7 2026年

テーマ レポート・論文の書き方、生成AI

生成AIを正しく理解し、創造的に使いこなす力(AIリテラシー)を育むための教科書。大学のレポート・論文を題材に、具体的な活用法や注意点について、必要なプロンプトを示しながら丁寧に解説。

※本書連動デジタル副教材「生成AIの基礎チェックテスト」もございます。(※希望者のみ)

書籍詳細 副教材サンプル



【著者コメント】 生成AIをパートナーとして使いながら質の高いレポートや論文を書くための方法を解説します。生成AIの仕組みやレポートや論文の書き方を論じた上で、生成AIとの反復的な会話により得られる知識をどのようにレポートや論文の執筆に役立てるか、豊富な事例をもって示します。また生成AIの活用によって得られる学び方や、生成AIが拓く卒業後のキャリアについても論じます。(伊藤貴之)



誰よりも、うまく書く 心をつかむプロの文章術

電子

ウィリアム・ジンサー 著/ 染田屋茂 訳

2,970円 四六判並製・368頁 978-4-7664-2774-5 2021年

テーマ 文章法

アメリカで30年以上読み継がれ、累計150万部の売上をほこるノンフィクション・ライティングの名著、待望の邦訳! 文化からスポーツまで幅広いジャンルを手掛ける名物記者が明解で、簡潔で、自分らしく書く技巧と心持を伝授。

【著者コメント】 1922年ニューヨーク生まれのジンサーはジャーナリストとして活躍しながら、大学で創作を教えつづけてきました。その講座をもとに書籍化されたのが『誰よりも、うまく書く』です。以来、作家や記者、教師、うまく書きたい人たちの座右の書として読み継がれています。その創作哲学は、徹底的に無駄をなくせ、論理的であれ、「自分らしく」あれ、です。アメリカらしい美学でもあり、AI時代にこそ有効な心得と技を会得してください。(染田屋茂)



迷わず書ける記者式文章術 プロが実践する4つのパターン

電子

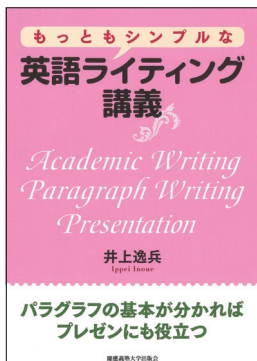
松林薫 著

1,540円 四六判並製・212頁 978-4-7664-2496-6 2018年

テーマ 文章法

元新聞記者でジャーナリストの著者が、大手新聞に共通する執筆メソッドを整理・解説する。新社会人から広報担当、ブログの書き手まで広い範囲で応用可能な「速く、分かりやすく書く方法」を伝授する。4つの構成パターンのひな形付き。

【著者コメント】 時間がなくてもすぐに文章を書けるのは、いまだに「新聞記者」だけである。また誰にでも「伝わる」表現を駆使できるのもやはり記者である。そして彼らにとっても一番重要なのは「内容」のオリジナリティである。これはAIにはできない、どんな文章を書くにも応用がきく技術を学ぶことができる「記者式文章術」。(松林薫)



もっともシンプルな英語ライティング講義

電子

井上逸兵 著


1,980円 A5判並製・160頁 978-4-7664-2789-9 2022年


テーマ 英作文

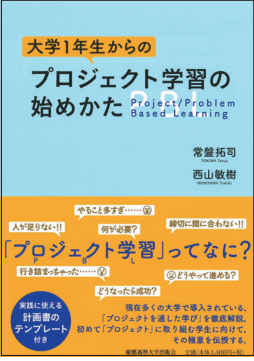
段落とパラグラフの違いや、日本と欧米におけるライティングの思考の違いをふまえ、英文の基本構造をもっともシンプルに解説。アカデミックなシーンでも、ビジネスにおいても、英語で、書く・読む・プレゼンする技術を獲得できる一冊。


【編集部コメント】 英作文とは、ただ単に日本語を英語に置き換えるだけではありません。本書を読んでパラグラフの基本構造をしっかりと理解することが大事です。そのために、極限まで記述をそぎ落とし、エッセンス中のエッセンスだけを解説しています。これを読めば、ライティングだけでなく、口頭でのプレゼンテーションにも役立ち、日常のコミュニケーションをも変えるでしょう。

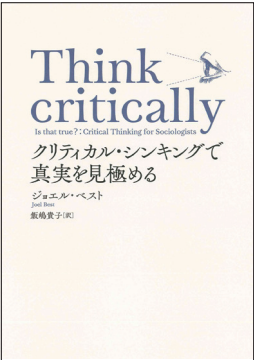



	アカデミックライティング入門 第2版 英語論文作成法 電子	
	吉田友子 著 2,200円 A5判並製・200頁 978-4-7664-2212-2 2015年	
	テーマ 英語論文、ビジネスレター	
英語論文を書きたい人のための、中・上級レベルのテキスト。本文を読み、練習問題をこなすうちに、必要なスキルとステップをおさえることが出来る構成。文献調査のウェブ活用法や電子文献の使い方など、ネット時代に対応した改訂版。		【編集部コメント】 英語で論文を書けるようになることは決して簡単ではありません。そのために最も学習効果が高いのは、本書でも述べられているようにとにかく「実際に論文を書くこと」で、その作業を少しでも楽しくするため、各章末に「Writing for Fun」のコーナーが設けられています。ちなみにこのコーナーは、ビジネスレターや履歴書のカバーレターの書き方、TOEFLのWritingセクションのコツなど、実用性が高いトピックが並んでいるのがポイントです。


	大学1年生からの研究の始めかた 電子	
	西山敏樹 著 1,540円 A5判並製・128頁 978-4-7664-2364-8 2016年	
	テーマ 研究法	
これから研究をはじめめる大学生に、研究とは何かを考えさせ、自ら研究を進めるためのプロセスを、豊富な事例とともにやさしく解説。主体的に学び、目標を達成しようとする姿勢を身に付けるための1冊。		【編集部コメント】 本書は、その名の通り大学生が研究を開始するにあたっての参考書ですが、そのスタンスとして、「目的」と「目標」の違いを明確にするということがあります。目的を、生涯をかけた究極のゴールととらえるならば、目標は、そのゴールに行くために取り組むべき行動や道筋を示すものです。この両者の違いを、しっかりと意識して、研究に取り組むことを前提として書かれています。


	大学1年生からのプロジェクト学習の始めかた 電子	
	常盤拓司・西山敏樹 著 1,540円 A5判並製・128頁 978-4-7664-2636-6 2019年	
	テーマ 研究法、プロジェクト学習	
プロジェクト学習（PBL）の初学者向けテキスト。プロジェクトを進めるうえでの基礎知識や手順をわかりやすく解説するとともに、「炎上」したときの対処法、評価やふりかえりの方法を提供する。巻末には計画書のテンプレートも付録。		【編集部コメント】 「プロジェクトを通じた学び」についての基本的な知識を学べる本書の著者は、大型研究プロジェクトのマネージャーとしてこれまで多くのプロジェクトの立案・マネジメント等を手掛けてきました。この著者だから書ける本書の第4章「プロジェクトの危機」では、さまざまな理由でプロジェクトが「炎上」してしまったときどうすればよいか、そうならないようにするためにはどうすればよいかをわかりやすく解説しています。

	論理的な考え方 伝え方 根拠に基づく正しい議論のために 電子	
	狩野光伸 著 1,980円 A5判並製・176頁 978-4-7664-2267-2 2015年	
	テーマ 論理的思考力	
グローバルに通じる考え方とは？ 科学や学問の考え方とは？ 反知性主義ってどうしたら回避できる？ 意見の違いを受け止めて、新しい考えを広めるときに、感情や抑制でなく、理解と納得で進める「議論 argument」の方法を解説。		【著者コメント】 本書は、議論の正しい方法を説明するものです。議論の正しい方法を身につければ、不安や不満足な状況に、冷静に新しい方法で対処することができます。また、皆さんが素敵な新しいアイデアを思いついたとき、それを理性的に実行可能なところまで磨き、納得してくれる人を増やしてくれるでしょう。（狩野光伸）

	<h2>Think critically クリティカル・シンキングで真実を見極める 電子</h2>	
	ジョエル・ベスト 著／飯嶋貴子 訳	
	2,200 円 四六判並製・224 頁 978-4-7664-2786-8 2021 年	
テーマ 論理的思考力		
「クリティカル・シンキングは重要である」とはよく言われますが、実際どうということなのでしょうか。社会学者であるベストが、議論のあり方、問題設定、データの見方、分析の切り口など、基本を一から丁寧に説明します。	【訳者コメント】 米国の大学でも標準科目になっている「クリティカル・シンキング」。その基本を著名な社会学者が丁寧に解説する。アカデミズム・スキルの根本である「議論」をどう組み立て、証拠を集め、吟味、評価するか。日本人に不足していると言われがちな「批判的思考術」を身につけたい人にうってつけの 1 冊。(飯嶋貴子)	

	<h2>大学生のための速読法 読むことのつらさから解放される 電子</h2>	
	松崎久純 著	
	1,540 円 A5 判並製・128 頁 978-4-7664-2401-0 2017 年	
テーマ 読書法		
読むスキルについての基本的な考えから、大学生・大学院生に必須の文献一講義の配布資料、就職活動に関する本、論文、学術書などを読みこなす具体的方法まで丁寧に解説。	【著者コメント】 本をラクに読むための教科書です。「苦痛なく読むこと」ができれば、リーディングは自由自在にでき、速度も速くなっていきます。本書は無理な読み方を押しつけるものではなく、どうすれば読むときのつらさと別れ、ラクな読み方を身につけられるか——これを丁寧に解説し、6つのステップとして紹介するものです。「本が読みやすくなった」「読書量が増えた」という反響の多い一冊です。(松崎久純)	

	<h2>大学生のための動画制作入門 言いたいことを映像で表現する技術 電子</h2>	
	黒岩亜純・宮徹 著	
	1,980 円 A5 判並製・160 頁 978-4-7664-2428-7 2017 年	
テーマ 動画制作、映像技術		
近年、スマホの登場などにより容易・廉価になった動画の制作について、その基本的なりテラシーを身につけられるテキスト。企画・撮影・編集の各段階について、報道現場のノウハウに基づきわかりやすく解説。	【編集部コメント】 今日の SNS の隆盛にみられるように、スマホの登場は映像の作り手にとって革命的な出来事でした。文章の書き方については小学校以降必ず何らかの教育を受ける機会がありますが、映像の作り方については現状そうありません。本書はテレビ局のプロデューサーと映像制作に関わる NPO で活動してきた著者が、大学生のアイデアや疑問をもとに現場のノウハウをイキイキと伝える入門書です。ライブの授業を聞いているような語り口、読みやすさも人気です。	


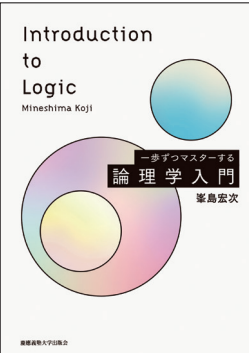

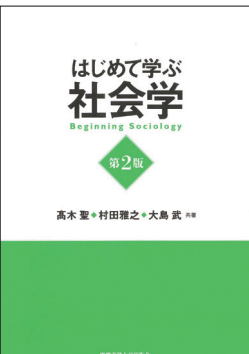

	<h2>大学生のための交渉術入門 電子</h2>	
	野沢聡子 著	
	1,760 円 A5 判並製・160 頁 978-4-7664-2487-4 2017 年	
テーマ コミュニケーション力、ソーシャルスキル		
アルバイトやサークル等、大学生活で生じる意見の対立・衝突といった問題は、どのように解決すればよいか。相手と自分がお互いに満足のいく結果を導くための「協調的」交渉術の手法を、理論と実践の両面から分かりやすく解説。	【編集部コメント】 本書は人と人との間で生じる問題を解決する方法として、「協調的交渉」を提案しています。これは「妥協」や「譲歩」とは違います。また自分の利益というゴールを追い求める「競争的交渉」とも異なります。双方がもっとも優先する「欲求(Needs)」を明らかにし、それらを満たす方策を当事者が一緒に考えることが協調的交渉で、本書はその基本的なスキルを紹介していますが、人と人のコミュニケーションそのものに関心がある読者にもおすすめの一冊です。	


	<h2>大学生のためのウェブ調査入門 社会科学からみた設計と実装 電子</h2>	
	吉村治正・増田真也・正司哲朗 著	
	2,750 円 A5 判並製・176 頁 978-4-7664-3012-7 2025 年	
テーマ 社会調査、データ分析		
<p>ウェブ調査の全体像、測定誤差についての考え方、Google Forms を使った回答画面作成、そして「セルフ型ウェブ調査」の実装の初歩までを網羅。はじめてウェブ調査を行う人に必要な知識と考え方を伝える一冊。</p>	<p>【編集部コメント】本書では「科学的なウェブ調査とは何か」について、従来の調査法との違いや問題点を踏まえてわかりやすく提示しています。そして Google Forms を使った質問項目の作成例や、サーバーを立ててセルフ型ウェブ調査を実装した例まで丁寧に解説され、本書を読みながら実際に手を動かすことでウェブ調査の基本を身につけられる構成になっています。ウェブ調査で特に注意が必要なセキュリティ問題についてもページが割かれ、実用性の高い1冊です。</p>	


	<h2>プレゼンテーション・パターン 創造を誘発する表現のヒント</h2>	
	井庭崇・井庭研究室 著	
	1,540 円 四六判並製・168 頁 978-4-7664-1989-4 2013 年	
テーマ プレゼンテーション		
<p>魅了するプレゼンは当たり前。聴いた人まで触発されて、アイデアを次々と出してしまうような創造的なプレゼンのヒントを 34 パターンで解説。グッドデザイン賞受賞。</p>	<p>【編集部コメント】『プレゼンテーション・パターン』は、単なるスライド作成術ではなく、聞き手の創造を誘発するプレゼンとは何かを体系的に学べる学習実用書です。プレゼンの不安を構造的に整理し、創造的な伝達を支える言語として 34 個の「パターン」を提示している点が画期的。本文は 2 色刷で読みやすく、学生が自分の発表を通じて考えを深め、他者と共有する力を育む教科書として最適です。</p>	


	<h2>ワークショップ・デザイン論 第2版 創ることで学ぶ 電子</h2>	
	山内祐平・森玲奈・安齋勇樹 著	
	1,980 円 A5 判変型並製・264 頁 978-4-7664-2720-2 2021 年	
テーマ ワークショップ、グループワーク		
<p>ワークショップの「企画—運営—評価」のサイクルを、理論をもとにわかりやすく解説する構成はそのままに、第2版では、適切な課題設定の仕方や、ファシリテーションについての最新の知見も盛り込み、さらに利便性を向上。</p>	<p>【編集部コメント】ワークショップデザイナー必携の一冊として多くの方にお読みいただいています。「ワークショップ」という言葉から多くの人が想像するのは、「一方的な講義形式ではない、少人数の話し合いや体験で学びが得られる」といったものではないでしょうか。本書では、その副題にあるように「創る」という要素をワークショップの定義に加えています。何かを創ることと学びとの関係に関心がある人にとってもさまざまなヒントを与えてくれます。</p>	


各科目教科書

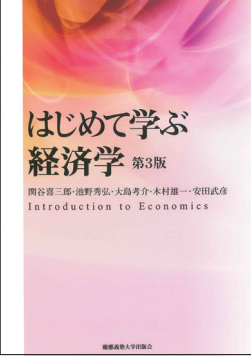
	<h2>はじめての倫理学 混迷の時代を生きるために 電子</h2>	
<p>サイモン・ブラックバーン 著／柘植尚則 訳</p> <p>2,420 円 四六判並製・192 頁 978-4-7664-3058-5 2025 年</p>		<p>テーマ 倫理学</p> <p>現代を代表する哲学者のサイモン・ブラックバーンが、倫理学をはじめて学ぶ読者にむけて執筆した超入門書。「倫理なんてニセモノではないか?」という根本的な「問い」に向き合いつつ、さまざまな日常の問題をときほぐし、答えを導き出す。</p> <p>【著者コメント】 多くの入門書は、倫理学について人びとを悩ませているもの——倫理的な思考や主張がニセモノではないかという疑問——にうまく関わる事ができていません。まずはそうした疑問に答えるべきなのに、それにはほとんど答えず、さっそく倫理学の解説に入っています。それに対して、本書は、倫理学に対する疑問に真正面から丁寧に答えることから始めており、しかも、それを主な目的の一つにしています。その意味で、まさに最初に読むべき入門書です。(柘植尚則)</p>
	<h2>一歩ずつマスターする 論理学入門</h2>	
<p>峯島宏次 著</p> <p>2,640 円 A5 判並製・288 頁 978-4-7664-3015-8 2025 年</p>		<p>テーマ 論理学</p> <p>論理学を使いこなせるようにすることを目標にしたテキスト。「証明」の組み立て方や、日本語文の記号化の方法を、初学者にも分かりやすいよう、例題や証明図を用いていねいに解説する。豊富な問題には充実した解答・解説を付し、便利な文献案内も収録。</p> <p>【著者コメント】 このテキストは、論理学を初めて学ぶ人に向けて、「論理学は何を目指しているのか」という最初の問いから始めて、一歩ずつ答えを与えながら読み進められるように構成されています。記号が苦手な人でも、練習問題を解き進めるうちに、自然とその使い方が身につくよう配慮しました。簡単な問題から始めて徐々に問題を解けるようになるにつれて、論理学の面白さを実感できるはずです。(峯島宏次)</p>
	<h2>はじめて学ぶ社会学 第2版</h2>	
<p>高木聖・村田雅之・大島武 著</p> <p>1,980 円 A5 判並製・160 頁 978-4-7664-2308-2 2016 年</p>		<p>テーマ 社会学</p> <p>はじめて社会学にふれる人のための好評テキスト第2版! 基礎的な概念や用語を身近な事例を挙げながら懇切丁寧に解説。社会を見る目、問題の本質を知る手がかりを得るのに最適の1冊。</p> <p>【編集部コメント】 社会学のテキストというと、学説史や古典的な理論の紹介から始めるイメージですが、本書はより具体的に現代社会の問題をわかりやすく論じることで、初学者にも読みやすい作りとなっています。また、人気コミックからの引用を多数掲載する等、複雑な問題でも学生が取り付きやすくなるよう工夫を施しています。</p>


	環境学入門 法学・経済学・自然科学から学ぶ 電子
	青木淳一・一ノ瀬大輔・小林宏充 編著 1,980円 A5判並製・208頁 978-4-7664-2957-2 2024年
	テーマ 環境全般／環境法の基礎教養
<p>20世紀終盤から問題がより顕著にあらわれはじめて、現在も継続している環境問題である、「循環型社会」、「生物多様性」、「気候変動と温暖化対策」をテーマとして、それぞれを法学、経済学、自然科学の観点から解説。</p>	<p>【編集部コメント】現代国家は、法律というツールによって社会を運営します。社会の構成員である個人や企業の行動を決定づける大きな要因には、経済的動機があります。社会的にも経済的にも合理性のある政策が行われるべきですが、その政策は自然科学の知見にも裏打ちされたものであるべきです。この観点から、大きく3つの学問体系から環境に関する問題を講じるテキストです。初歩から学べるように配慮し、専門用語を知らなくても大丈夫な内容になっています。SGDs 関連授業にもお勧めです。</p>


	新版 大学生が知っておきたい生活のなかの法律 電子
	細川幸一 著 1,980円 B5判並製・112頁 978-4-7664-2815-5 2022年
	テーマ 法律一般／消費者法の基礎教養
<p>「2022年4月からいよいよ始まった「18歳成人」。その法律の改正や変更点、大学生に関する環境の変化を反映した最新版！身につけておきたい法律の知識を、学生生活、就職、結婚、老後といったライフステージに分けて解説。</p>	<p>【著者コメント】自分や社会にとっての意味や必要性を感じずして法律を学んでも、無味乾燥としたものとなり、身に付きません。幸か不幸か、社会への不満や自分の権利侵害を感じる若者が少ないようです。しかし、実際には数多くの課題があり、問題が起きています。本書は気づきや日頃の経験から出発して法律の存在意義と仕組みを学べるように工夫しました。大学受験を控えた高校生や、彼らの親御さんにも好評をいただいています。(細川幸一)</p>

	大学生が知っておきたい消費生活と法律 第2版 電子
	細川幸一 著 2,200円 B5判並製・112頁 978-4-7664-2912-1 2023年
	テーマ 法律一般／消費者法の基礎教養
<p>陥りやすい消費トラブルのための「法律の知恵」を身に付ける「賢い消費者」へのパスポート！とりまく消費社会を理解し、消費者としての法律の知識や消費トラブルを豊富な図表とともに、やさしく解説する最新版。</p>	<p>【著者コメント】「子どもはだれでも明日の消費者」という消費者教育の標語がありますが、むしろ「子どもはだれでも今も消費者」かもしれません。小学生の子どもでもネット社会に放り込まれてトラブルに巻き込まれます。大学生ともなればなおさら勧誘や落とし穴に接します。「予防に勝る救済はなし」と言われます。必要な知識を身に付け、適切な行動ができる消費者になるための書物としました。(細川幸一)</p>

	大学生のための日本国憲法入門 電子
	吉田成利 著 1,650円 A5判並製・168頁 978-4-7664-2647-2 2020年
	テーマ 憲法の基礎教養
<p>「憲法」には何が書いてあるか？ 憲法はなぜあるのだろうか？ 基礎教養としての日本国憲法を、話題となった事例や、身近なニュース事例などをとり上げながらわかりやすく説明する日本国民の必読書！ 付録として、日本国憲法全文を掲載。</p>	<p>【著者コメント】本書は法律学を専門としない大学生や幅広い方々に日本国憲法を理解していただき、日々の生活の「道具」として用いていただけることをねらいとしています。文章は簡潔明快で、コラムの内容などなるべく具体的に身近な題材を取り上げました。本書を通して、80年近く変わっていない日本国憲法が現在の社会状況から乖離しているのだとすれば私たち国民の生活に憲法をどのように役立てていくべきなのかを考えていただけたら幸いです。(吉田成利)</p>

	<h2>はじめて学ぶ経済学 第3版 電子</h2>	
	関谷喜三郎・池野秀弘・安田武彦・大島考介・木村雄一 著	
	1,980円 A5判並製・170頁 978-4-7664-2795-0 2022年	
テーマ 経済学、マーケティング、経営戦略		
<p>経済学初学者のための入門書を最新の動向にあわせて改訂した第3版。経済学部はもちろん、会計・マーケティング・経営戦略などを学ぶ学生にも必要なミクロ／マクロ経済学の基礎知識を精選、徹底して平易・丁寧な解説する。</p>	<p>【著者コメント】 本書はタイトルどおり経済学の第一歩から学ぶ学生を対象にしています。著者のこれまでの経験に基づき、文系の学生を対象に、1年間の講義を通じて、最終章まで終えることのできる内容と分量になっています。ミクロ経済学とマクロ経済学で必須とされる基本的な内容になっていますが、近年の景気後退、低金利政策など実際の経済の動きもカバーしており、現実経済の理解にも対応できるよう心がけました。(池野秀弘)</p>	

	<h2>はじめて学ぶマクロ経済学 電子</h2>	
	池野秀弘・木口武博・木村雄一 著	
	2,200円 A5判並製・176頁 978-4-7664-3003-5 2025年	
テーマ マクロ経済学、経済統計		
<p>マクロ経済学を初めて学ぶ読者でも、基本の一つひとつの順を追って学ぶことができるテキスト。実際の経済統計やインフレ・デフレといった最近のトピックにも触れながら日々の経済を知ることにも役立つ。</p>	<p>【著者コメント】 マクロ経済学を初めて学ぶ人たちのために、理解しておくべき基本的な知識を整理し、日本経済に関連した実際のデータを取り入れて、現実の経済と結び付けて説明するように心掛けました。コラムや図表も随所に盛り込み、経済に関するニュースや新聞記事の理解にもつながるように工夫しています。また、大学の1年間の講義で無理なく扱える分量に収め、授業での利用を想定して構成しました。(池野秀弘・木口武博・木村雄一)</p>	

	<h2>はじめて学ぶ大学教養地学 電子</h2>	
	杉本憲彦・杵島正洋・松本直記 著	
	2,750円 A5判並製・336頁 978-4-7664-2662-5 2020年	
テーマ 地学、気象、天文、環境問題		
<p>固体地球、大気海洋、天文の3部構成で、それぞれの専門家が基礎から最新の知識まで、わかりやすく解説。文系・理系を問わず、すべての大学生に向けた新しい地学テキスト！</p>	<p>【著者コメント】 自然災害や暦・天気など日々の生活に至るまで、私たちの日常は地学と深く関わっています。本書は、固体地球、大気海洋、天文学の地学全分野を網羅しつつ、図解やコラムを豊富に使用し、章末ごとに設問を設けるなど、地学を初めて学ぶ学生でも理解しやすい構成にしています。また、地下資源や環境など人間社会との関わりや、地球内部や宇宙の探査のように、未知に挑み続ける学問としての側面も紹介しました。(杵島正洋・杉本憲彦・松本直記)</p>	

